

【拡充】北海道ブルーカーボン推進事業費

【目的】

ブルーカーボンの取組を推進するため、CO₂吸収量の算定等を行い、カーボンクレジットの取得を促すとともに、理解促進に向けた普及啓発を行う。

【現状】

○道はこれまでも国の事業を活用し、藻場の造成や漁業者等が取り組む保全活動への支援等を実施。

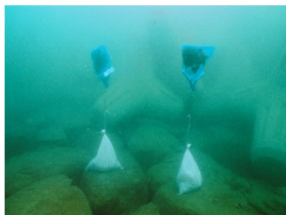
国内におけるブルーカーボンに関する動き

	国内の状況
吸収量	<ul style="list-style-type: none"> ・国の研究機関等において、CO₂吸収量の評価や藻場の増強などの技術開発を推進 ・R5年11月に国の研究機関が、海草・海藻藻場のCO₂貯留量の算定手法を発表
クレジット	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーカーボンのクレジットは、国土交通省が認可した団体（JBE）が、「Jブルークレジット」として運用

※JBE(ジャパンブルーエコノミー技術研究組合)：Jブルークレジットの認証、発行、売買等を実施

【事業内容】

藻場保全活動等におけるクレジット取得の効率的手法の実証や、ブルーカーボンに関する普及啓発を行う。

区分	内容
クレジット取得促進(委託)	<p>○道内で実施されている藻場保全活動等をモデルとしたCO₂吸収量の算定を行い、クレジット取得に係るガイドラインを作成する</p> <p>藻場保全活動：雑海藻駆除（R5～）、食害生物駆除・母藻設置（R6～） 養殖：ホソメコンブ（R5～）、ナガコンブ（R6～）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>食害生物駆除</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>母藻設置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海藻養殖</p> </div> </div> <p><small>出典：第3版 磯焼け対策ガイドライン 出典：第3版 磯焼け対策ガイドライン</small></p>
普及啓発	○最新情報等の発信により、ブルーカーボンに関する道民の理解促進を図る

【予算額】

実施年度	予算額(千円)	予算額(千円)			実施年度	担当課・係
		国	道	その他		
R6年度	26,936	—	26,936	—	R5～	水産振興課 成長産業化戦略係
R5年度	10,732	—	10,732	—		

【特定財源】基金繰入金(温暖化防止対策基金)